

【資料3】

雪との共生に向けた方向性

資料3-(1)雪との共生に関する考え方

雪との共生に関する考え方(想定)

持続可能な雪対策の実現に向けては、これまで多くの労力やコストをかけた行政中心の除排雪により快適な道路環境を確保してきたが、今後はより一層行政・市民・地域・企業が連携し、雪がある中でも安全・安心な冬の生活環境を確保する、雪と共生したまちづくりへ意識を変えていくことが必要

これまでの雪対策

多くの労力やコストをかけた行政中心の除排雪により快適な道路環境を確保。



今後の雪対策

行政・市民・地域・企業の連携により、安全・安心な冬の生活環境を確保。



雪との共生に向けた行政と市民の役割(想定)

(1)行政の役割

札幌市は、冬の市民生活や経済活動の確保に必要な除排雪を行うとともに、市民・地域・企業などが行う雪との共生に向けた取組への支援などを行う。

(2)市民・地域・企業の役割

市民・地域・企業は、気象の変化や人口減少に伴う社会環境の変化に合わせた「冬の行動」「冬のルール・マナー遵守」「冬の助け合い」に取り組む。

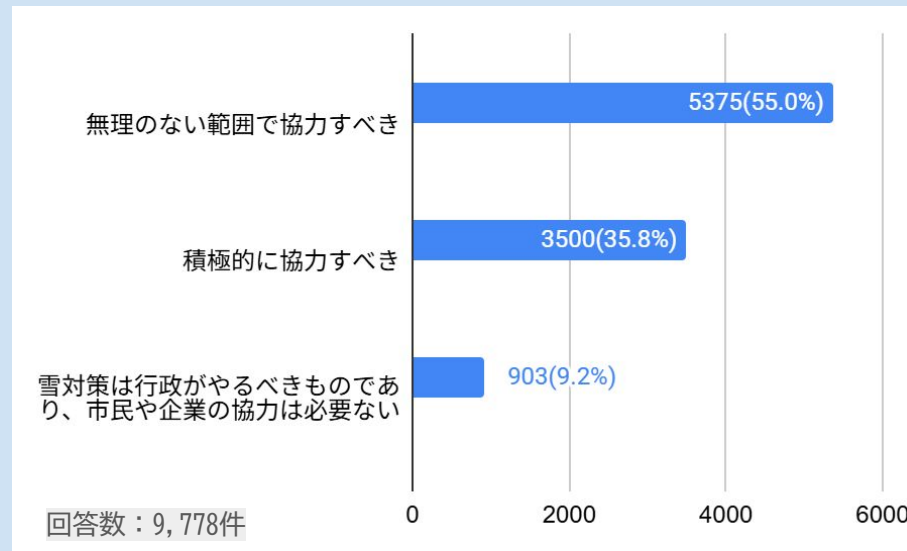
市民・地域・企業の役割の具体例

- ① 除排雪への理解……家の前に寄せられた雪の処理や除排雪で対応できることの限界など
- ② 大雪など冬の気象に合わせた行動……余裕を持った行動(平常時)や大雪時などの外出抑制など
- ③ 冬のルール・マナー遵守……「雪出し」「路上駐車」「夜のゴミ出し」をしないなど
- ④ 冬の助け合い(雪の魅力の活用)……雪の魅力を活用した地域活動や除雪ボランティアなど

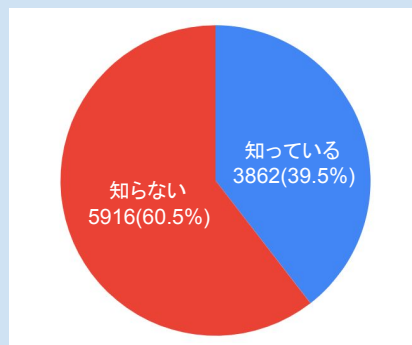
資料3-(2)市民アンケートの結果

◆雪との共生に関する市民アンケートの結果

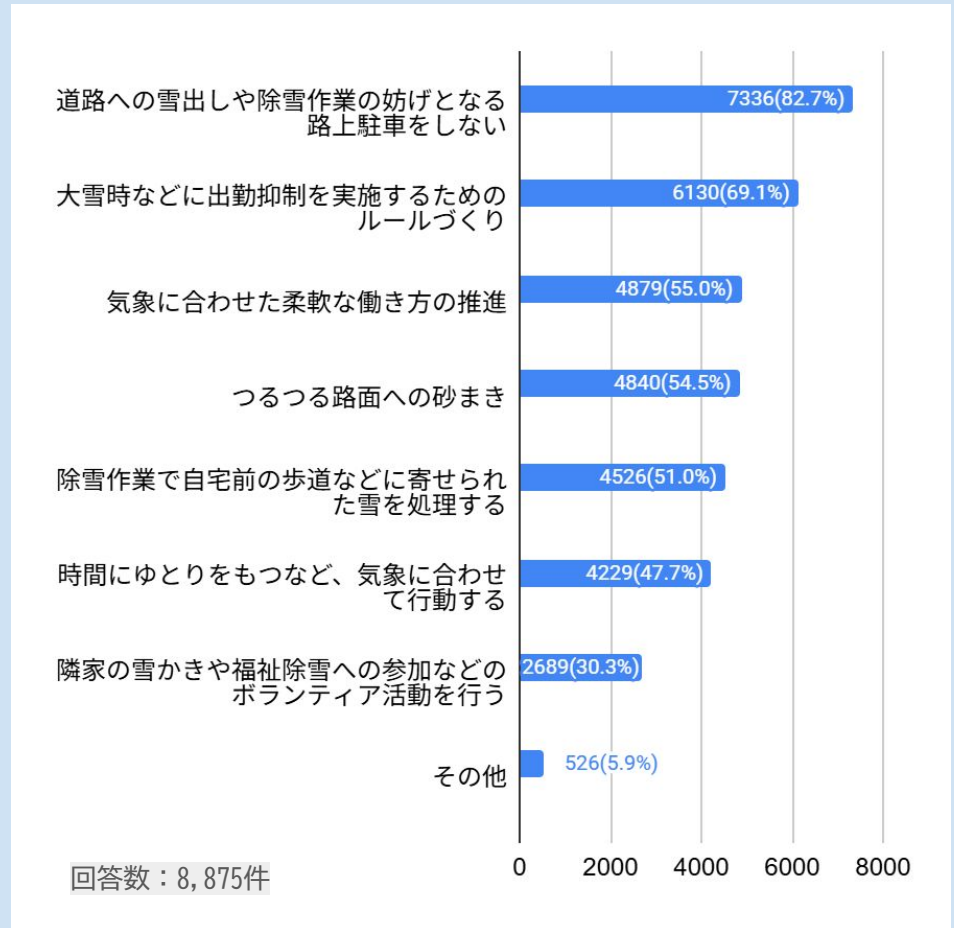
(1-3) 持続可能な雪対策に向けた市民や企業の関わり方についてあなたはどうかあるべきだと思いますか。



(1-5) 現在、札幌市雪対策審議会を設置して、持続可能な雪対策のあり方についての検討を進めていることを知っていますか。

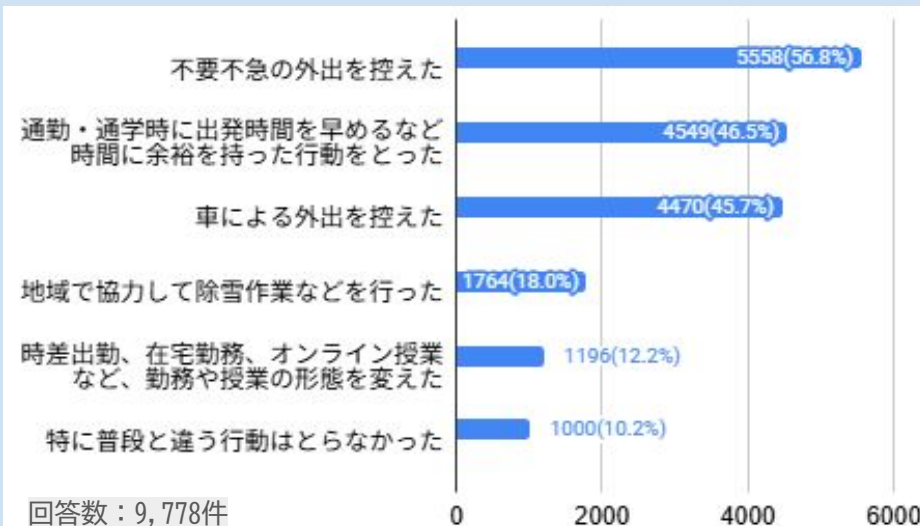


(1-4) 市民や企業ができると考えられる対応は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり

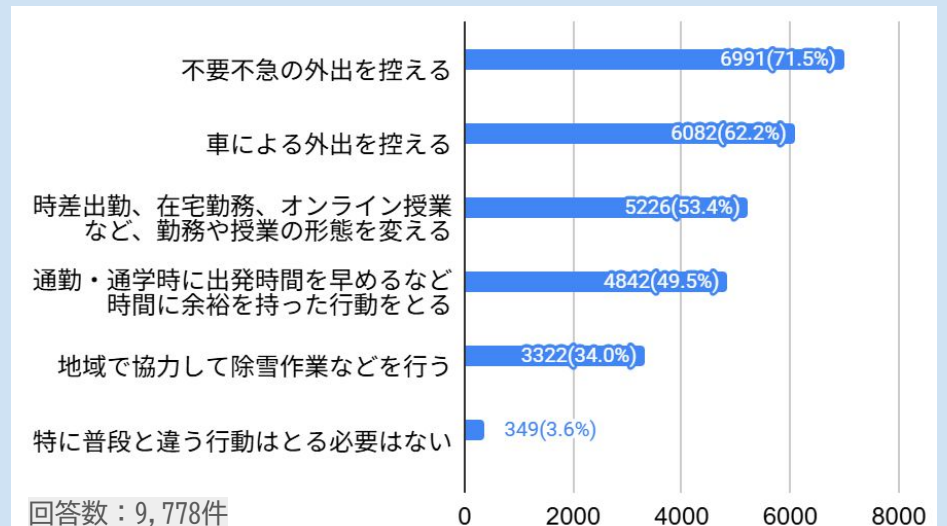


◆市民アンケートの結果（続き）

(2-1) 令和8年1月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



(2-2) 今後、今回（令和8年1月下旬）のような大雪となった際、どのような行動をとるべきだと思いますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



(2-3) 大雪時などに行動を変えるためにはどのような情報や仕組みが必要ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



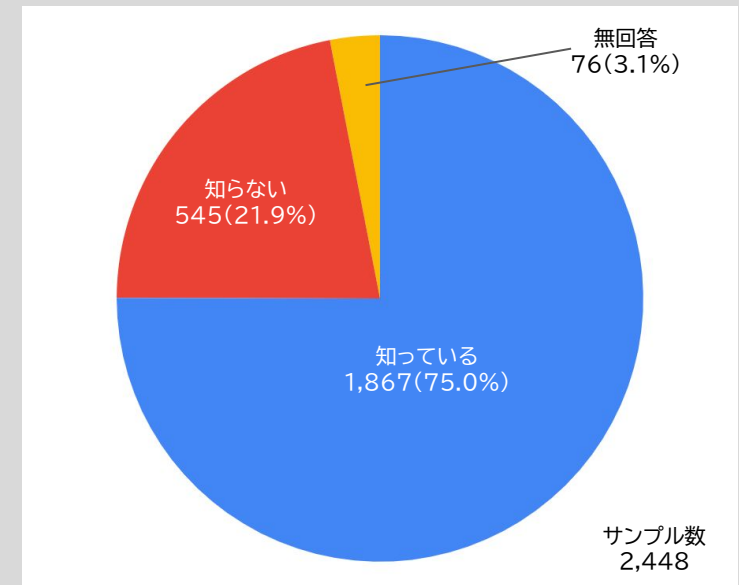
資料3-(3)項目ごとの現状

①「除排雪への理解」に関する現状

現状

- 除雪作業で寄せられた雪の処理に対する市民認識は75%と高い状況(右図)
- 一方で、市民からの苦情は、「家の前に寄せられた雪」が毎年多数(R5約9千件)

質問:あなたは、札幌市の新雪除雪により、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理(道路部分の雪かき)を各世帯に行っていただいていることを知っていますか。



市民意識調査R7第1回

主な取組

- ◆情報発信
 - 冬の暮らしガイドの全戸配布
 - 生活道路除雪の作業情報(HP, LINE, データ放送)
 - 雪学習や雪体験授業
- ◆雪処理に対する支援
 - 融雪施設設置資金融資あっせん制度
 - 公園の雪置き場としての利用



想定要因

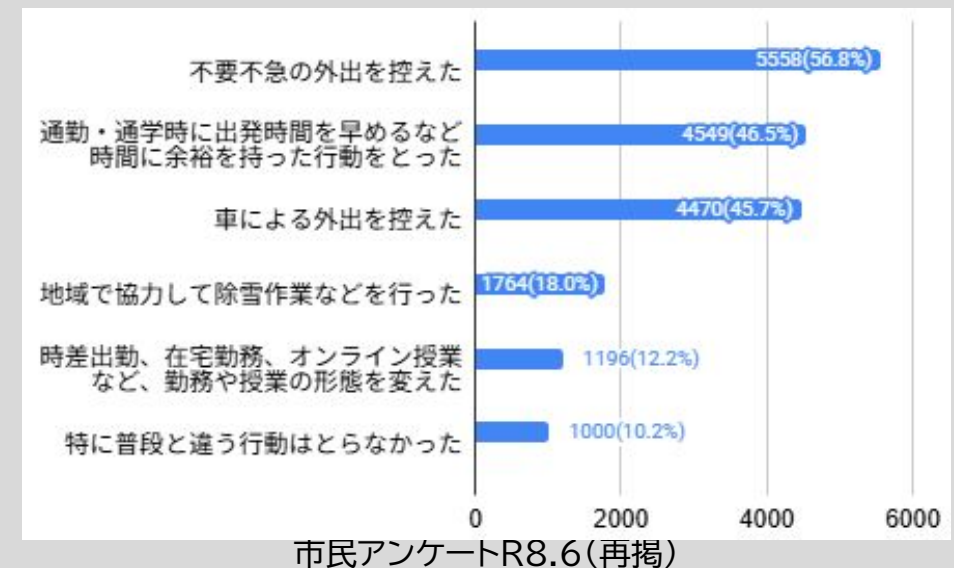
- 雪かきに関する実際の作業負担が大きい(雪質や作業内容によっては、重たい雪の処理が必要)
- 行政の除排雪について正確な情報が伝わっていない

②「冬の気象に合わせた行動」に関する現状

現状

- 大雪時に不要不急の車による外出を控えている市民は45.7%(右図)
- R7大雪時には2日間でJAFの出動件数が7000件以上 ※UHBニュースR8.1.31より

(2-1) 令和8年1月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



主な取組

◆情報発信

- 「大雪時のリスクなど」に関する冬の暮らしガイド(全戸配布)への掲載
- 「大雪時の協力」に関する動画
- LINE等を活用した警報発令時の情報発信

周知動画



想定要因

- 市民一人ひとり(個人)での会社や学校に行かない判断が難しい可能性
- 気象に合わせた行動に必要な情報が足りていない
- 業務を止めることへの企業側のリスクがある

③「冬のルール・マナー遵守」に関する現状

現状

- 守っていると回答した市民は、「雪出し」は90.5%
(右図)、「路上駐車」は92.7%
- 道路への雪出しや除雪作業の妨げとなる路上駐車は、未だに一部で存在

主な取組

◆情報発信

- 冬のルール・マナーに関する動画
- 冬の暮らしガイド(全戸配布)への掲載

◆指導・啓発活動

- 地域や警察との合同パトロール
- 各区における雪出し注意・啓発活動

冬のルール・マナー動画

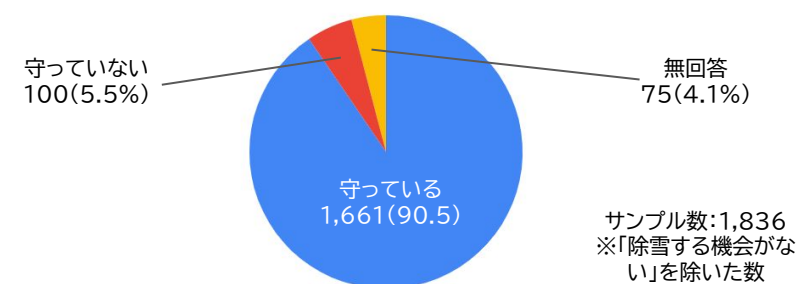


合同パトロール(路上駐車)

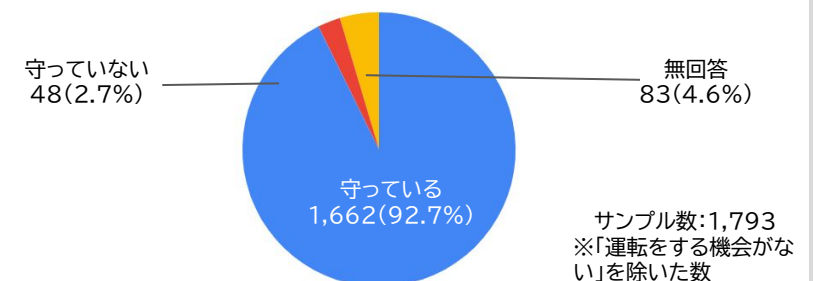


市民意識調査R5第1回

質問:あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



質問:あなたは、「路上駐車をしてはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。



想定要因

- ルールを知っていても対応しない(できない)市民が存在する可能性

④「冬の助け合い(雪の魅力の活用)」に関する現状

現状

【市民意識調査R7第1回】

- 除雪ボランティア活動に取り組んだことがない市民は50.5%(右図左)
- 除雪ボランティア活動の推進に向けて重要な取組は、「町内会など地域への働きかけ」が61.8%、「報奨などの動機付け」が32.2%(右図右)
- 地域活動に参加したことがある市民は40.2%、ないと答えた市民は56.1%。

主な取組

◆活動支援

- 除雪用具や小型除雪機の貸出
- 小型除雪機購入費の補助

◆マッチング支援

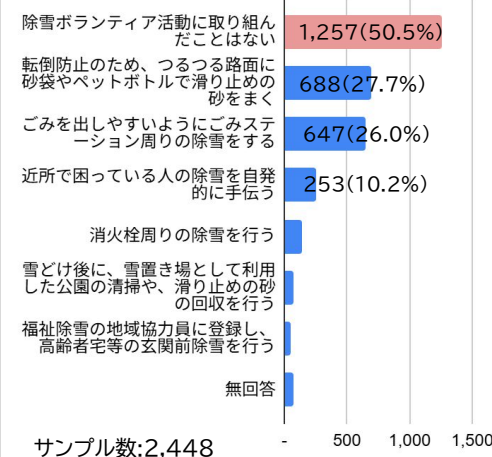
- 福祉除雪事業(社会福祉協議会)
- 学生や企業の除雪ボランティアに対する支援

学生の除雪活動



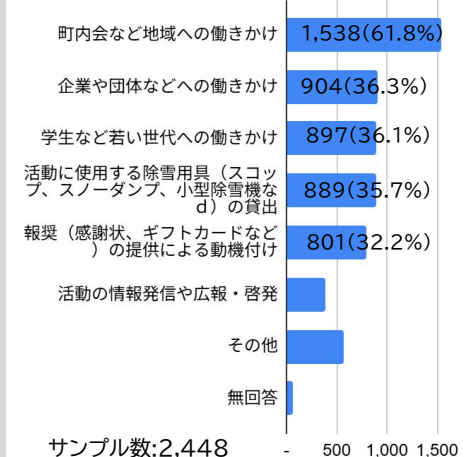
質問:

札幌市では、市民の皆さまに「除雪ボランティア」への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに取り組んだことがある除雪ボランティア活動について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



質問:

あなたは、札幌市が各種除雪ボランティア活動を推進するため、どのような取組が重要になると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



想定要因

- 地域活動へ参加するきっかけがない(年代や立場を超えて参加したいと思う活動が必要)
- 地域活動に参加する時間がない(参加しやすい仕組み作りが必要)

資料3-(4)参考情報

市民理解醸成に関する取組(参考)

市民議論の取組

- ①  **R7.10.19**
市民ワークショップ
「雪対策の未来を考える」
- ②  **R8.2.28**
市民ワークショップ
「札幌の冬の暮らしをみんなで考える」
- ③  **R8.8.1, 8.8**
市民会議
(ミニ・パブリックス)
- ④  **R8.9.5-6, 9.12-13**
オープンハウス
(チカホ、商業施設にて開催)




日	時	場
第1回	令和8年5月12日(土) 10時～17時	サンプラザホール(中央区南3区5)
第2回	令和8年5月13日(土) 10時～17時	教育文化会館(中央区南1区13)

情報発信

- ① 
気になる! さっぽろ(uhh)(テレビ)
「雪対策の”これから”を考える」
(R8年6月21日(日) 8:25~8:30)
- ② 
スマイルさっぽろリターンズ(HBC)(ラジオ)
「みんなで考える冬のさっぽろ」
(R8年6月8日(月) 9:30~9:40)
- ③ 
広報さっぽろ「雪対策に関する特集」
R7: 5月号・8月号
R8: 1月号・3月号・6月号・7月号
- ④ 
検討状況をまとめたホームページ
「持続可能な雪対策の概要～私たちの冬の暮らしはどうなる?」
<https://qnows.jp>

持続可能な雪対策に向けて市民と一緒に考えていくため、今後も審議会の議論や札幌市の除排雪に関する正しい情報などを様々な機会やツールを活用して伝えていく

市民理解醸成に関する取組(参考)

大学でのワークショップ

雪対策の現状と課題について市の職員から説明を行った後、行政・企業・市民それぞれの立場でできる解決策を学生同士で話し合いました。

(各校における主な意見)

① 北海道大学

- 行政は、除雪作業を担える人材を把握し、人手の確保に取り組む
- 行政は、SNSやテレビなどで財政状況と雪対策の現状を丁寧に説明する
- 企業は、従業員が家の除雪をする時間を確保できる勤務体制をつくる
- 集合住宅と一戸建て住宅の住民が協力して、生活道路を除雪する

② 北海商科大学

- 雪かきができる若者と、雪かきが必要な方がマッチングするアプリを開発する
- 発電のためのエネルギーや冷房に雪を活用する取り組みを今よりも進める

③ 北星学園大学

- 雪かきを短時間、単発の仕事として、気軽に頼める仕組みを作る
- 自動運転の除雪車の開発や雪をエネルギーに変えるなどの技術に投資する
- 地域内で除雪機の貸し借りを行うことで地域交流も活性化させる



ワークショップの様子

今後の取組予定

「雪との共生」の実現に向けた社会デザインについて、札幌市立大学と連携した検討を進める予定。



オープンキャンパスにおける授業
「札幌市の道路除雪をリ・デザイン！」 14

子どもの提案

子どもから市政やまちづくりについて提案や意見を募集する取組において、雪と共生するまちづくり」について意見を募集しました。

(主な意見)

- 学校のボランティア活動として地域の雪かき
- 誰の家とか関係なく人の通る道を雪かきする
- 除雪車の体験を通して将来の担い手を増やす
- 雪かきアルバイトサイトでアルバイト募集！



大雪時の対応や市民の行動変容に向けた先行取組について(参考)

昨冬の大雪を踏まえた対応として、「情報発信の強化」や「市民の行動変容につながる環境整備の検討」などについて令和8年度中に実施予定。また、下記の取組を組み合わせた対応訓練を、関係者と連携して実施予定。

昨冬の大雪を踏まえた対応

① 大雪時等の臨機な除排雪体制

大雪時の対応指針に基づく
臨機な除排雪

- 地区を超えた応援体制の確保
- 国や北海道など関係機関との連携体制の確保 など

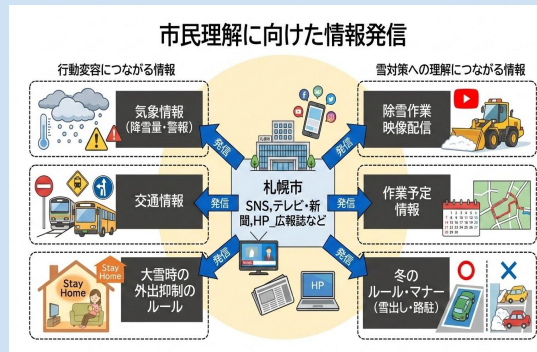
大雪の臨機な除排雪作業



② 庁内連携による情報発信の強化

大雪に関する事前情報など

- 除雪作業に関する情報
- 市民の行動変容につながる事前の注意喚起の検討 など



③ 行動変容に向けた社会環境の整備

札幌商工会議所と連携して
大雪時の柔軟な働き方を検討

- 大雪を想定した勤務体制 など

大雪を想定した柔軟な働き方



上記の取組を組み合わせた対応について、冬のシーズン前に関係者と連携した訓練を実施予定

ご議論いただきたい内容

雪との共生に関する今後の方向性

雪との共生に関する「考え方」や「行政と市民の役割」及び「その実現に向けた方向性」についてご議論いただきたい。

市民・地域・企業の役割の具体例(再掲)

- ① 除排雪への理解……家の前に寄せられた雪の処理や除排雪で対応できることの限界など
- ② 大雪など冬の気象に合わせた行動……余裕を持った行動(平常時)や大雪時などの外出抑制など
- ③ 冬のルール・マナー遵守……「雪出し」「路上駐車」「夜のゴミ出し」をしないなど
- ④ 冬の助け合い(雪の魅力の活用)……雪の魅力を活用した地域活動や除雪ボランティアなど